

ファールンダーファー

法輪大法

世界中で  
愛好され  
中国で  
迫害されている

# MINGHUI 明慧 INTERNATIONAL

オンライン版は23カ国語対応 | JP.MINGHUI.ORG

ファールンダーファー  
法輪大法で

心身を鍛えよう

## 目次

肺がんから生き残り 新たな希望を見出す .....	6
25年間に及ぶ迫害 .....	14
歴史の正しい側に立つ .....	20
カナダの弁護士が見つけた最高の贈り物 .....	24
子供たちに道徳の大切さを教える明慧書籍 .....	28

ストレスから解放 | 心身を養う | 内面の穏やかさを見出す



# 法輪大法とは何か？

法輪大法（ファールンダーファー）は「法輪功（ファールンゴン）」とも呼ばれ、「真・善・忍」の理念に基づく古来の心身修養法です。学習者は心身両面の向上を目指します。主著である『轉法輪』の道徳的な教えに加え、座禅を含むゆったりとした5セットの動作で心身を鍛えます。



## 心身の健康

## 良心の堅持

## 混迷の中の希望

**06** 肺がんから生き残り  
新たな希望を見出す

**12** 明慧ネットで希望と啓発  
を見出す

**24** カナダの弁護士が見つけた最高の贈り物

サロンのオーナー  
**08** 事業の中で真善忍を  
実践

**14** 25年間に及ぶ迫害

**26** 法輪大法デーで感謝  
を分かち合う

世界中の地域社会を豊  
かに  
**10**

**20** 歴史の正しい側に立つ

子供たちに道徳の大  
切さを教える明慧書  
籍  
**28**





# 法輪大法の 理念

TRUTHFULNESS

# 真

ZHEN

COMPASSION

# 善

SHAN

FORBEARANCE

# 忍

REN

## 何万人もの人々が健康を取り戻した

李洪志氏は1992年5月に長春市で法輪功を伝え始めました。毎回の講習会には数百人、やがて数千人が参加するようになりました。これは、参加者が法輪功の修煉で健康を取り戻し、幸せになった実体験を友人や家族に次々と口コミで伝えたからです。

ある参加者はこう語りました。「講習を一度聞き終えた後、私は足が地面につかず、浮いたまま家に帰ったように感じました。また、若者のようにエネルギーに満ちあふれて、嬉しさと心地よさも覚えました。帰宅後、私は知り合いの全員に法輪功を紹介し、家族の20数人も間もなく修煉を始めました」

## 『轉法輪』がベストセラーに

1992年から1994年にかけて、中国各地で56回の講習会を開催した後、李洪志氏は1995年1月に法輪功の主要書籍である『轉法輪』を出版しました。それから2年も経たないうちに、北京のベストセラーとなりました。その後、同書は40カ国以上の言語に翻訳されました。

オーストラリア・シドニーのある学習者はこう語ります。「『轉法輪』を読んで人生の意味が分かりました。なぜ自分が辛い人生を送ってきたのか、本当の善悪とは何かが分かりました。この本を読めば、自分の執着や否定的な考えに気づくことができます。私は、それらをなくすように努力しています。健康になり、今はとても幸せです」



# 法輪功の五式の功法

誰でも簡単に学べます。世界中のボランティアが無料で教えています。

- 1 佛展千手法**  
身体を緩やかに伸ばす動作を通して、第一式の功法は身体全体の脈を通じさせ、強いエネルギー場を作ります。


- 2 法輪樁法**  
4つの静止姿勢を数分ずつ続けることで、第二式の功法はエネルギーの力を増幅させ、知恵を呼び覚まします。

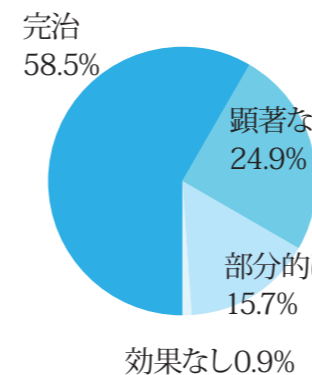

- 3 貫通兩極法**  
両手を上下に滑らせる優しい動きを通じて、第三式の功法は宇宙のエネルギーを体内に取り入れ、身体を浄化します。


- 4 法輪周天法**  
身体の前面、背面に沿ってゆっくりと手を動かすことで、第四式の功法は身体の正しくない状態を整え、エネルギーを循環させます。

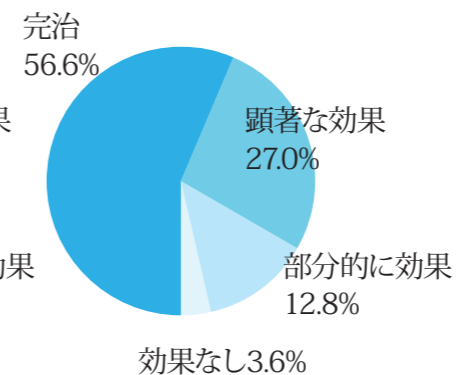

- 5 神通加持法**  
特別な手印と手の動作を行います。第五式の功法は心身を浄化させ、神通力とエネルギーを増強させます。



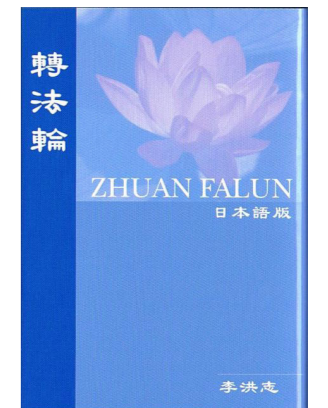
## 法輪功に関する健康調査 約12,000件の回答に基づく



健康改善



ストレス軽減



『轉法輪』を読んでみませんか  
ご購入はこちら [Hakudai.jp](http://Hakudai.jp) (博大書店)



# 肺がんから生き残り、 新たな希望を見出す



上: 韓国世宗市体育連盟の会長・尹康元氏



上: 『轉法輪』を読む尹康元氏

韓国の世宗市体育連盟の会長で、建築資材会社の社長でもある尹康元(ユン・カンウォン)氏(63)は、紆余曲折の人生を経てきました。肺がんを発症し、肺の切除手術を受けた後、彼は苦痛の日々を送っていましたが、一冊の法輪功の本を手渡されてから新たな希望を抱くようになりました。

企業家として、尹氏は複数の事業に失敗しました。しかし、彼は諦めず、一筋の希望を掴もうとある名僧のもとを訪れ、「どんな商売をすればいいですか?」と尋ねました。名僧は「占い師に聞けばいいのに、なぜ私に聞くのですか?」と聞き返しました。

「お寺に1年間滞在して仏典を学べば、儲かる商売を教えてくださいませんか?」と思った尹氏は、お寺で暮らし始めました。しかし、1年経っても、2年経っても、名僧が何も教えてくれず、尹氏は「少なくとも3年間の滞在が必要という意味なのだ。そのときに教えてくれるだろう」と思いました。

長々と待っている間に、尹氏は肺がんと診断されました。彼は韓国の名僧であった性徹大師がかつて修行していた大邱聖殿庵を訪れ、そこである仏教徒から法輪功のことを聞き、自分のいたお寺の住職も法輪大法を修煉していることを知りました。お寺に戻った尹氏が聞いたことを名僧に話すと、名僧はすぐに本棚から法輪功の著書である『轉法輪』と、修煉の動作を教えるビデオを取り出して尹氏に渡しました。『轉法輪』を読んだ後、尹氏は名僧に「この本は実に奥深いです」と言いました。

## 法輪功を修煉してから、 人生が一変した

地元の公園で人々が法輪功を煉功しているのを見かけた尹氏は、自分もやってみたく考えました。一部の学習者が1月でも屋外で煉功していると聞き、彼の妻は「あなたは肺がん患者なので、体を常に温かくしておかなければならない。春になるまで待たなければ」と勧めましたが、彼はとにかく公園に行き、煉功動作を学びたいと決めました。

尹氏が名声や私利私欲に淡泊になったのは、大法を学んで数カ月後のことでした。「ひたすら本を読み、煉功していました。そして半年後に振り返ったとき、自分の人生観が大きく変わったことに気がつき、『何てことだ! 法輪功はすごい!』と思い、そこから真剣に修煉し始めました」

彼は自分の性格が変わったと感じ、より思いやりを持ち、妻の家事も手伝うようになったと言いました。彼の妻もその変化に気づき、友人らに「もし旦那さんが思いやりのない人なら、法輪功を習うことを勧めてみて下さい」と言ったそうです。

「もし旦那さんが思いやりのない人なら、法輪功を習うことを勧めてみて下さい」

尹氏の健康状態も劇的に改善しました。法輪功を学ぶ前、彼は癌のため肺の半分を切除され、呼吸が苦しく、数メートル歩くだけで疲れを感じていました。化学療法のため、彼は足が腕と同じくらい細くなっていて、強い抗がん剤を服用したせいで、2週間食事がとれないこともあり、苦悩していました。しかし、法輪大法を修煉してから、彼は健康を取り戻し、再びサッカーができるようになり、1時間も走れるようになりました。

「法輪功を修煉してから、若々しくて健康になった気がします。私の経験

を聞くと、信じようとしていない人がいますが、これは間違いなく本当のことです。法輪功を実践できて、すごいことです。私は本当に幸運です。法輪功を教えて下さった李洪志先生に心から感謝しています」

ある日、尹氏に本を渡した名僧が訪ねてきて、彼に「法輪功を習ってからどんな感じですか?」と尋ねました。尹氏は「これを学んで初めて、自分がどこから来て、どのように振る舞い、そしてどこへ行くのかが分かりました」と言いました。名僧は微笑みを浮かべました。



上: 第5式の功法を行う尹康元氏

## 若いアスリートを支援

世宗市陸上競技連盟の会長である尹氏は、陸上競技に興味を持つ子供たちに会う度に、スポーツの話をする前にまず、自分の人格を向上させることに集中するよう念を押します。「子供たちにはいつも、誠実で親切であること、思いやりを持ち、忍耐強くなるよう伝えています。現在は道徳が低下し、校内暴力も起きているので、私のこうした努力がその流れを変える一助になればと願っています」と、尹氏は語りました。最近『轉法輪』を読んでいる時、尹氏は「真」という言葉がよく目に留まると言い、「もっと真に優しい人間になりたい、何をしても、心を込めてやっていきたいです」と話しました。

## 事業の安定

現在、尹氏は建築資材会社を経営し、安定した運営を築いています。修煉者である彼は、ただ仕事に集中し、欲を捨て、すべてを成り行きに任せています。

「修煉してから、成り行きに従うことが自分にとっていかに大切かが分かり、それによって大変助かったし、大きな収穫も得ました。例えば、見積を出せば他社が競合してきます。競争が激しければ、私は身を引きます。正直そして自然体で成り行きに商売をすることで、仕事も環境もいい方向に向かうのを実感しています」と、尹氏は述べました。

## 人生と希望の新たな歩み

法輪功の修煉により、重病または末期症状から回復した人々の生の声

人生と希望の新たな歩み  
法輪功の病氣治療効果





# サロンのオーナー 事業において 真善忍を実践

右：『轉法輪』を読んでから人生が変わったと語るジョリーさん

ラジナ・ジョリーさんは美容師兼メイクアップアーティスト。オーストラリアのメルボルンの富裕層地区でサロンを経営しています。快活で明るい性格を持つ彼女は気さくで情熱があり、幸せな家庭を持っています。彼女の幸福感はサロン全体に広がり、スタッフたちもお客に快適さとリラックス感を与えています。

## 「法輪功には、私が求めていたすべてがある」

「私は常にスピリチュアル的なものに興味を持ち、そのような活動にも参加していましたが、どのグループにも身を委ねることはできませんでした。私が求めている真理を見つけられなかったからです。2009年に友人から法輪功（法輪大法としても知られる）のことを聞き、私が求めていたものはすべてこの修煉にあるとすぐに分かりました」とジョリーさんは言います。

彼女は、法輪功と「真・善・忍」の理念が心に響いたと言います。「法輪功が無料だと知っただけで、何があっても、どんな犠牲を払っても、これを学ぶべきだと思いました」と言います。ジョリーさんは李先生の講義を通じて法輪功に触れたきっかけを思い出し、次のように話しました。「最初は、友人から師父のある講義を紹介されて、それがとても素晴ら



精神と道徳の向上  
法輪功の道徳向上効果

## 精神と道徳の向上

より良い人間、そして自分よりも他人を思いやる人間へと奮起した法輪功学習者の厳選ストーリー



しいと感じました。そこで、友人は『修煉したいなら、この本を読むべきです』と言い、『轉法輪』を貸してくれたのです」

彼女は友人の勧めに従い、本を読み通しました。「『轉法輪』を初めて読んでから、私の人生は一変しました。常にスピリチュアルなものに惹かれつつ、パーティーガールだった私は、またドラッグやアルコールに手を出してしまいました。法輪功を学び始めてから、真に修煉したいなら、自らを変えていかなければならないと思い、すぐにアルコールとドラッグをやめました」

「しかし、タバコは私にとって昔から日常生活の一部になっていて、コーヒーとタバコは当たり前のことです。『轉法輪』を読んでから、タバコを吸うことは、一時的に休息を取れる以外に何のメリットもないことが分かりました。タバコを完全に止めるのに1年半かかりました」

## 『轉法輪』を読む過程で啓発を受ける

「この本を読んでいた時、著者の李洪志先生が私に語りかけられていて、先生と直接つながっているように感じました」と、他の本から経験したことがない感覚を覚えたジョリーさんは言います。「本を開く瞬間からその繋がりが生まれ、本を読み通して初めて、そのような経験ができるのです」

また、明慧ネットで見つけた李先生の広州での講義ビデオについて、彼女はこう話しました。「ビデオを見ることで、修煉とは何なのかという理解が深まりました。『轉法輪』を初めて読んだときは、何が起るかわからないという感じだったと思います。読んでいることは真実だと分かっていますが、まだ体験していないことがあ



上：李先生に旧正月のご挨拶を申し上げるジョリーさん

ります。講義をビデオで聞くと、法理と修煉に対する理解が深まりました。もちろん、『轉法輪』を読めば読むほど理解が深まり、読んでいくうちにどんどん啓発を受けるのです。本当に不思議なことです」

## 法輪功の教えを実践し、内に向けて探求を学ぶ

「真の修煉者になろうと思えば、日常生活や仕事において『真・善・忍』の原則に従ってベストを尽くしました」とジョリーさんは振り返ります。「それが徐々に向上していくプロセスだと思えます。実践の初めは確かに難しかったです。商売人は、金儲けをしなければ愚かだと考え、何が何でも金儲けのためにお互いをねじ伏せようとするからです」

ジョリーさんは、職場での問題への対処法も変えました。「顧客からクレームがあった場合、『真・善・忍』に照らしてどこに問題があったのか？ この顧客から何を学べなかったのだろうか？ どうすればサービスの質を高め顧客の要求を満たせるのか？ 取り除くべき執着心が何なのか？ と、私は内に向けて自分の問題を探すよ

うにしました」

「そして何よりも確実だったのは、非常に困難な時や気持ちがどん底に落ちていた時、『真・善・忍』の理念が私を元気づけ、状況をはっきりと見極めるのを助けてくれました」とジョリーさんは語ります。

賑やかな街にある彼女のサロンに足を踏み入れた途端、顧客はすぐに温かく歓迎された雰囲気包まれます。スタッフたちは顧客のニーズに耳を傾け、その笑顔と優しさが温かさを伝えるだけでなく、彼らが常に顧客のために考えていることも伝わっているのです。

ジョリーさんは率先して、すべての顧客に誠実に接するようスタッフを教育しています。「『真・善・忍』から得た智慧で、私は不機嫌な顧客を嬉しくさせることができます。スタッフにも教えていることですが、それは相手を責めないことです」

「法輪功は私に、より良い人間になる方法、特に私たちの業界において、より良いサービスを提供する方法を教えてくださいました。スタッフには、敬意と礼儀をもって人々にサービスを提供する方法を本当に心から理解してもらう必要があります。私は法輪功の理念に従い、彼らは私のガイドラインに従います」

ジョリーさんのサロンには、有名人を含むあらゆる階層の人々が訪れます。ジョリーさんはしばしば会う人々に『轉法輪』を勧めます。「この本は私に希望を与えてくれるので、非常に貴重です。すべての人に読んでほしいです。読めば、物事に対する見方が変わるので、彼らの人生は間違いなく変わり、心も広くなるでしょう。さらには宇宙を理解し、無形のもの、この世では通常出会うことのないものを理解できるようになります。それらが彼らの心を開かせるでしょう」





## 世界中の地域社会を豊かに

### フランス・ポー:

2023年6月9日から14日まで、フランス・ポー市の画廊で「真善忍国際美術展」が開催された。迫害の中でも「真・善・忍」の理念を堅持する法輪功学習者の勇気と不屈の精神を表す53点の作品が展示された。

### 韓国・ソウル:

天梯書店は2023年1月4日、法輪功の主著である『轉法輪』の出版28周年を祝う読書会を開催した。

### マレーシア・クアラルンプール:

2023年5月6日、法輪功学習者はタマン・タセ・ティティワンサ公園に集まって煉功を行い、法輪功が伝え出されて31周年を祝った。



法輪功の第二式の功法を学ぶアンダマン・ポートブレアの生徒たち

## アンダマン諸島とニコバル諸島にある座禅学習会

クリスティーナさんは、インドに数十年住んでいる西洋人の法輪功学習者で、法輪功を紹介するために多くの辺地を訪れてきた。アンダマン諸島とニコバル諸島を訪れることは彼女の長年の夢であったが、コロナのロックダウンにより実現できなかった。2022年～2023年にかけて、彼女はようやく夢が実現し、2回も旅に出て、12の学校と2つの大学、および児童養護施設で法輪功を紹介した。



ポートブレアにある学校で、クリスティーナさんは今まで実施した中で最大規模となる学習クラスに招かれた。ある教師は、座禅の練習中にこれほど多くの生徒が沈黙のまま座っていたことに驚き、「これはありえないことでした」と述べた。

2回目の旅行では、クリスティーナさんは異常な暑さに耐えなければならなかったが、彼女が開催した功法レッスンはすべてうまくいった。生徒も教師も、爽快かつ穏やかなエネルギーに満ちあふれた気分になったという。何人かの校長は、子供たちの精神面の成長と幸福に役立つ学習クラスを開催してくれたことに感謝の手紙を寄せた。

上: 生徒たちが法輪功の第一式の功法を学ぶ様子  
左: 政府のITI研究所で法輪功を紹介する





# 明慧ネットで希望と啓発を見出す

## Minghui.org

中国の公園はかつて、穏やかな音楽に合わせてゆっくりとした功法の動作を行う老若男女で埋め尽くされていた。全国で1億人が法輪功を実践していた。しかし、この平和的なグループが国家の監視下に置かれるようになると、国営メディアは一転して攻撃に出た。そして、学習者は逮捕され、殴打されるようになった。北米の一部の学習者は、何が起こっていたかの正確な情報をまとめ、世界に知らせる必要があると考えた。これが明慧（ミンフイ、直訳すると「明晰な智慧」）ネットの始まりである。

### 中国国内外の一般市民への情報提供

明慧（ミンフイ）ネットは設立以来、世界中の学習者の体験を共有し、中国における迫害状況を報道するための役割を果たしてきた。また、明慧ネットは、ウェブサイトや印刷された定期刊行物を通じて、中国本土の人々に法輪功に関する事実情報を提供する主要な情報源でもある。

また、明慧は世界中の政府、人権団体、及び一般市民に権威ある情報を提供している。

以下の特集記事やラジオについて、JP.MINGHUI.ORGをご覧ください。

- 法輪功を実践し、健康と新たな幸せを手に入れた人々の個人的な体験談
- 他人と衝突した際、内に向けて探し、自らの性格を改める学習者の感動的なエピソード
- 中国における法輪功への迫害の現状に関する独占的な一次情報

ご支援ください



明慧ネットはボランティアによるネットワークであり、中国における法輪功への迫害に関する一次情報を報道することに専念している唯一の団体です。私たちは25年間、毎日このような報道を行ってきており、そして私たちの報道は、中国と世界中の何百万人もの人々に真実の情報を提供しています。明慧の書籍やその他の出版物、ご寄付については、mhpublishing.orgをご覧ください。



MINGHUI.ORGは23カ国語に対応しています

中文	日本語
English	한국어
Bosanski	Polski
Česky	Português
Deutsch	Русский
Español	Slovenčina
فارسی	Српски
français	ไทย
עברית	Türkçe
Hrvatski	tiếng Việt
Bahasa Indonesia	Українська
ITALIANO	





拷問のイラスト：「虎の椅子」に縛り付けられる

## 25年間に及ぶ迫害

### 確認された死亡者数は5000人を超え

21歳前後の徐鑫洋さんは、他の子供たちとは違う感覚を覚えながら育った。他の子供たちが両親を持つ中、彼女は7歳になって初めて父親に会い、それは、法輪功を修煉していた父親が8年の刑期の最後の年に服役していた時だった。父親の徐大為さんは彼女を抱きたがったが、彼女は怖がって母親の腕の中に隠れた。それが人生最大の後悔だ、と彼女は言った。

翌年の2009年2月に父親が釈放されたとき、徐さんは父親の体が傷だらけだったため、まだ父親に近づ

くことを恐れていた。彼は息苦しかった。彼の意識がはっきりしているときもあれば、そうでないときもあった。13日間家族と過ごした後、彼は36歳で亡くなった。

中共の迫害によって亡くなった学習者として、徐さんが最初でも最後まででもない。2024年3月現在、5,049人の学習者が迫害によって命を落としたことが確認されている。中国での厳しい検閲、さらに多くの無実の学習者が中共の生体臓器狩りという残虐行為の犠牲者になっていることから、実際の死者数はもっと多い

と思われる。

法輪功が「国家の敵」というレッテルを貼られてから、全国のあらゆるレベルの政府関係者は動員され、中共の前指導者である江沢民の「名誉を汚し、経済力を断ち、肉体を消滅させる」という絶滅政策を遂行するようになった。

#### 拷問による「転向」

法輪功への迫害の核心は「転向」キャンペーンで、つまり、学習者に信仰を放棄させることにある。その手法



上：2023年に死亡が報告された学習者の一部抜粋

は、洗脳から肉体的・精神的拷問に及ぶ。法輪功を放棄する「保証書」を書くことに同意した学習者は早期釈放されるが、その多くはその後、他の学習者の「転向」に参加させられる。

中国全土の学習者は組織的に監視され、逮捕され、洗脳班（表向きは「法制教育センター」、最近では「ケアセンター」と呼ばれている）、閹刑務所、強制労働収容所（2013年に閉鎖されるまで）、刑務所、拘留所、薬物更生施設、および精神病院に連行される。拘留中、彼らは看守と当局に扇動された受刑者の双方から日常的に虐待や拷問を受けている。

一般的な拷問方法には、殴打、強制灌食、耐え難い体位での身体拘束、電気ショック、水責め、窒息、独房監禁、性的暴行などがある。睡眠、食事、飲水、トイレなど、基本的な欲求を奪われることも多い。心臓の不快感、舌のこわばり、歩行の著しい変化、神経過敏、異常思考、鈍い目、記憶喪失

などを引き起こす神経損傷薬を強制的に注射されたという報告もある。

拷問の生存者の多くは永久的な損傷、障害、麻痺、精神的外傷を負い、最も極端なケースでは精神異常に陥っている。学習者の家族は引き裂かれ、親族や子供たちは嫌がらせを続ける当局に常に怯えながら暮らしている。

1999年から2023年までの間に報告された5,010件の死亡事例を分析した2023年末の報告書によると、合計1,326人の学習者が警察署、拘留所、刑務所、労働収容所など、国家の拘束下で死亡した。

#### 恐怖と憎悪を植え付ける

法輪功とその創始者である李洪志氏を中傷する無数の記事をラジオ放送、新聞、雑誌に流すことで、中共は社会全体を迫害者の仲間入りさせ、学習者が何の権利も保障もない環境を作り出した。メディアによって法輪功を憎むように仕向けられた中国の国民は、不公平を目的に目にした無実の人々の叫びに耳を閉ざすようになった。

そのようなプロパガンダ・キャンペーンの一つが、天安門広場での「焼身自殺」だった。2001年1月23日、北京の天安門広場で5人が焼身自殺したとされている。その一部始終が複数の角度からカメラに収められた。

国営メディアは、焼身自殺者が学習者であるとの報道であふれた。これらの報道には、犠牲者の悲惨な映像も含まれている。法輪功は殺人や自殺を禁止しているにもかかわらず、報道は、法輪功の教えが悲劇を引き起こした直接の原因であるかのように描写された。

事件発生から数週間後、事件全体が演出であったことを示す証拠が次々と出てきた。ワシントン・ポスト紙の記事によると、焼身自殺者のうち2人は法輪功を修煉していなかったことが判明した。中国国内の人々がこの情報にアクセスできない中、中国国営メディアは「焼身自殺者」を学習者として描くキャンペーンを続けた。それにより、法輪功を尊重し同情していた中国全土の人々が、法輪功に激怒し攻撃するようになった。学習者を標的にした憎悪犯罪が増加し、中共は迫害をエスカレートさせた。

国営メディアで法輪功を悪者扱いするだけでなく、中共は誹謗中傷キャンペーンを学校や職場など、生活の他の側面にまで拡大した。生徒たちは、教科書や強制的な糾弾活動で反法輪功のプロパガンダを教え込まれていく。迫害初期の2001年3月、遼寧省のある小学校では、千人以上の生徒が学校から赤いチラシを手渡され、親に見せるように言われた。そのチラシには、「科学を支持し、（法輪功に関する）チラシを拒否する」などの6項目が書かれていた。3日後、学校はすべての授業を中止し、署名活動を開始した。全生徒は一列に並ぶように言われた。人数確認の後、生徒たちはテーブルまで歩いて行き、署名するように言われた。7、8人の教師がテーブルのそばで生徒たちを監視した。

長年にわたり、誹謗中傷キャンペーンは止むことがなかった。最近で



は、2023年上半期に黒竜江省綏化市教育局が地元の小中学校で、「生徒を封建的迷信から遠ざけ、迷信に惑わされないようにする」ためのセミナーを開催した。北林区第4中学校はまた、2人の中学2年生のスピーチを録画し、全生徒と保護者が視聴できるようにネット上に公開した。同校はまた、法輪功について話す人がいたら通報するよう生徒と保護者に呼びかけた。

湖北省仙桃市では2023年4月、一部の学校が生徒を動員して「中国反カルトサイト」が主催した請願活動に参加させた。請願書の内容は法輪功を中傷するものばかりで、そのリンクは教師や保護者のウィチャットグループにも送られた（ウィチャットは、中国の主流ソーシャルメディアアプリ）。2023年8月下旬、河北省保定市でも同様の請願活動が展開された。多くの地元の学校、企業、国有企業、さらには居民委員会や村までが参加した。生徒および保護者、教師、従業員、村民は、請願書に署名したスクリーンショットを提出するよう求められた。

## 基本的人権の剥奪

投獄や拷問に直面するだけでなく、学習者は生存のための最も基本的な権利も奪われている。学生は退学または入学拒否を強いられる。従業員は仕事を解雇され、退職すると年金が停止される。共産党政権は一個人から、事業、家屋、銀行の貯蓄など、すべてを取り上げることができる。

COVID-19流行時の「ゼロコロナ」キャンペーンで、地方当局は既知の学習者全員を訪問し、信仰を放棄する旨の声明書に署名することを要求した。学習者が用意された声明文

への署名を拒否した場合、当局は学習者を洗脳班に送る、または学習者の子供が就職や大学への進学ができないようにすると脅した。当局はまた、同様の脅しで学習者の家族にも圧力をかけた。学習者の生活を脅して交渉の切り札にするパターンは、遼寧省でも見られた。学習者が農民である場合、当局は政府が指定した農地を差し押さえると脅した。また、山東省の警察は、信仰を捨てなければ飛行機に乗れないと学習者を脅した。

多くの高齢学習者も、刑期を終えた後に年金を停止されている。ほとんどの場合、学習者は服役中に受け取った年金の返済を命じられた。中国の労働法にはそのような規定がないにもかかわらず、当局は新しい政策を持ち出しつつ、これらの学習者は服役中に退職金を受け取る権利がないと主張した。一部の学習者は年金給付の減額に直面し、その「負債」を何とか返したものの、年金支給を再開させることすらできない学習者もいた。精神的・肉体的トラウマに加え、経済的な打撃も学習者が早死する一因となった。

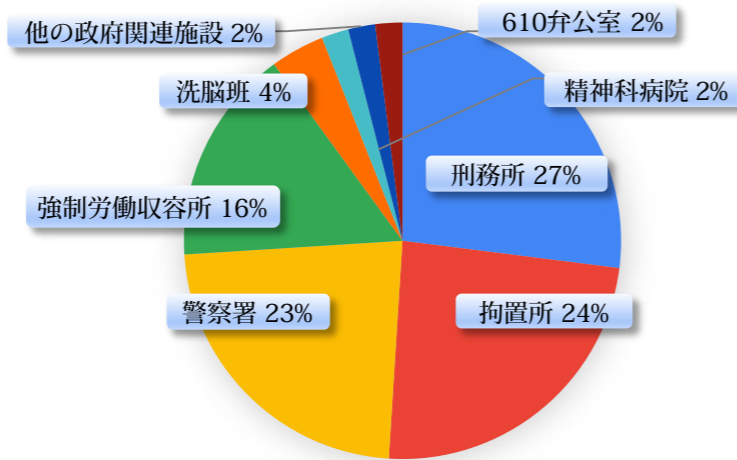
その一例として、吉林省延吉市の

金徳俊さんは2020年7月に年金を失い、苦しい生活に陥った。彼は2000年に法輪功を修煉していることを理由に、9年の懲役刑を言い渡され、その9年間に长春市、吉林市、公主嶺市の複数の刑務所で拷問を受けた。彼の妻は迫害のストレスに耐え切れず、彼が刑務所にいる間に離婚を突き付けた。出所後、彼はホームレスとなり、貧困に喘いだ。延吉市社会保障局は2020年7月、金さんの年金を停止した。当時の彼は71歳で、生活必需品はおろか、一番安い家賃すら払えなかった。3年後、彼は無一文で病死した。

## 中国の国境を越えた暴力、スパイ行為、検閲

中共は大使館、領事館、統一戦線組織を通じて、中国人コミュニティ、企業、学生団体に対し、法輪功の活動への妨害、学習者に関する情報の収集、および外国の役人、議員、市民団体を法輪功に敵対させるよう指示している。さらに、中共は国外のメディアに対し、法輪功のイベントや中国での迫害について報道しないよう圧

## 拘留中に死亡した1326人の拘留場所の分布



力をかけると同時に、他国にある中国語ニュースメディアを使って、反法輪功の宣伝を流している。

駐シドニー中国領事館の元外交官は、中国大使館や領事館が海外の反体制派を監視・弾圧する政治部門を設置していることを明らかにした。例えばシドニーでは、領事館の「法輪功対策特別班」は、政治調査、文化、ビザ、教育、在外中国人を含む各部門の責任者で構成されていた。これらの特別任務部隊は、大使または総領事の指揮下に置かれた。

中国領事館は、迫害に対する意識を高めるために定期的に情報ブースを設置している学習者を誹謗中傷し、嫌がらせをするために、地元の中国人コミュニティから人員を採用した。一例として、2008年にニューヨーク州フラッシングで起きた暴徒による学習者への襲撃事件は、在ニューヨーク中国総領事である彭克宇と関連があり、彼は電話インタビューで、暴徒の参加者に学習者を襲撃するよう促したと関与を認めている。

ニューヨーク州フラッシングの13人の学習者は2015年に訴訟を起こし、よく組織された暴力と脅迫キャ

ンペーンの中で、学習者が殴られたり、嫌がらせや殺害の脅迫を受けたりした約40件の事件について説明した。これらの脅迫のほか、住民や観光客に「法輪功信者をネズミのように叩け」と促す中国語のポスターが、フラッシングの目立つ場所に貼られていた。

訴訟には、以下のような類似事件の説明もあった。2014年7月14日、3人の学習者がフラッシング市内を歩いていたところ、被告の1人が彼らに「お前は犬よりも劣るのだ。3カ月以内にお前ら全員を一網打尽にして消してやる。全員を絞め殺して...終わらせる。お前らの心臓、肝臓、肺をえぐり出してやる。誰かがお前らを殺すだろう」と吐き捨てた。

しかし、こうした暴力行為は今に始まったことではなく、威嚇というよりむしろ情報を盗むことを目的としたものもあった。2006年、ジョージア州アトランタの李淵博士宅に、銃で武装した中共のスタッフが押し入った。李博士は『大紀元時報』の最高技術責任者だった。スタッフらは、李博士が窒息しそうになるまで重い掛け布団を彼にかけ、彼を縛り、口、目、耳にテ

ープを貼り、こめかみを殴った。さらに、スタッフらは彼のファイルキャビネットをこじ開け、2台のノートパソコンを盗んだが、他の貴重品はそのままにした。李博士は病院に運ばれ、顔を15針縫う怪我を負った。同年3月10日、大阪の別の学習者の自宅に強盗が押し入り、デスクトップパソコン2台、ノートパソコン1台、デジタルカメラを盗んだが、現金やその他の貴重品には手をつけなかった。

中共の支援を受けた団体は、他の方法でも学習者を黙らせようとしていた。学習者がパレードやその他のコミュニティ行事に参加したいと申請すると、中国領事館はしばしば主催団体に連絡し、学習者を排除し、活動への支援を撤回するよう要求する。サンフランシスコでは、江沢民の個人的な友人で、中国領事館と密接な関係を持ち、サンフランシスコ・ベイエリアでの法輪功への迫害を積極的に支援していたローズ・バックの指示を受けて、中国商工会議所は何度も法輪功の旧正月パレードへの参加を禁じた。

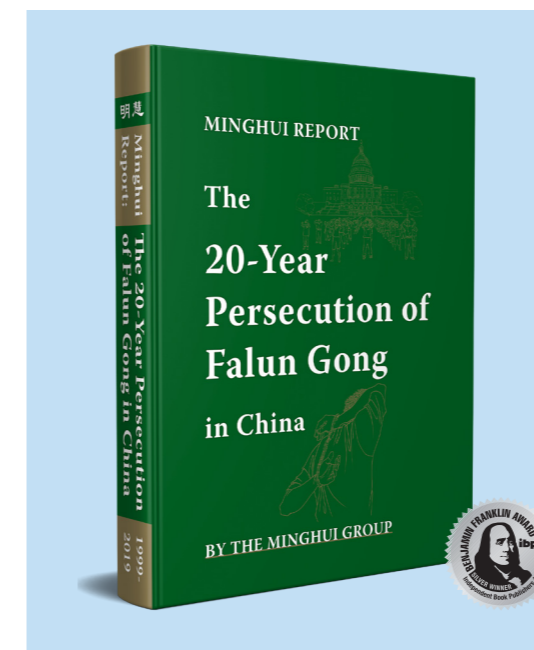
中共による欧米の学術機関への浸透において、国民の関心が高まっ

## 『明慧二十周年報告書：中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』

「本書は...オーストラリアのすべての図書館と議会事務所に置かれるべき」

-ピーター・ウェストモア、ニュース・ウィークリー誌

この画期的な著作は、他では見られない直接の証言に基づく、中国国内の法輪大法学習者が直面している残虐行為と、中国共産党が経済的圧力および世界中の政治家、市民、ビジネスリーダーへの脅迫を通じて、迫害を世界中に拡大していることの両方を取り上げている。





ている。これには、孔子学院を通じてイデオロギーを輸出すること、経済的脅しを使って検閲要求に従うよう大学に圧力をかけること、反体制派を監視し、中共の人権侵害に対する認識を高めるイベントを妨害するよう中国人学生団体に指示することなどが含まれる。

一例として、在シドニー中国領事館の教育部門は、以下の任務を負っていた。それは、中国人学生に対し大学で法輪功を中傷するよう働きかけること、中国人学生団体に反法輪功の宣伝資料を提供すること、学習者が特別な行事を行う際、学習者を標的

削除した。同クラブに関する情報閲覧が復活した後、中共政権は中国国内での同大学の英語版ウェブサイトへのアクセスをブロックし、その結果、同大学は収益の損失を被った。

中共政権は最近、シカゴでもその影響力を見せしめた。2024年3月、中国系の米国税関職員が、神韻のアーティストがヨーロッパ公演から帰国した際、米国への入国を阻止しようとした。同職員は神韻ツアーマネージャーのテレサ・杜さんとチームメンバーたちを指差しながら、「彼らは法輪功です。政治に関わっていて、不法入国者です」と、近くにいた同僚に言った。

中共は、神韻公演を主催する劇場を脅したり、ツアー車両のタイヤを切りつけたりするなど、長い間神韻公演を妨害してきた。

## 迫害に対抗する努力

1999年に迫害が始まって以来、中国の学習者は迫害に立ち向かい、党が支配するメディアによって広められた中傷的なプロパガンダに対抗するために、さまざまな手段を用いてきた。初期の頃、彼らの多くは北京に行き、国家陳情局などの公式ルートを通じて政府に陳情した。天安門広場で横断幕を広げて抗議する者もいた。2000年と2001年のピーク時には、北京市公安局の推定で100万人以上の学習者が北京に陳情に行った。

合法的な訴えの手段はすべて閉ざ

されていて、独自の情報源も検閲されるため、一部の学習者は、迫害に関する情報を広めるために独創的な方法を考え出し、紙幣に「法輪大法は素晴らしい」などのメッセージを書き込む人もいた。迫害が始まった最初の数年間、少数の学習者がテレビの電波をハイジャックし、党のプロパガンダを暴露する番組を放送した。

中国国内の学習者はその後も、迫害について人々に面と向かって伝えたり、横断幕やポスターを掲げたり、迫害への加担を思いとどまらせるために加害者らに手紙を送ったり、電話やメールで情報を広めるなどして、粘り強く活動を続けてきた。

中国国外では、学習者は中国大使館や領事館での集会や抗議活動、観光名所での情報ブースの設置、中国国内の加害者への電話、芸術作品の展示、ドキュメンタリー映画の制作、人権団体や政府機関との連携などを通じて、迫害に対する認識を高めるための活動を精力的に行ってきた。

世界中の政府や非政府組織は、臓器移植のために学習者を殺害するなど、中国における迫害を非難してきた。2019年、中国における良心の囚人からの強制臓器狩りに関する独立立法廷は、「強制臓器狩りは中国全土で何年にもわたって相当な規模で行われており、法輪功学習者は臓器供給源の一つであり、恐らく主要な供給源であった」と結論づけた。自国民がこれらの臓器狩りの犯罪に加担することを防ぐために、一部の国では、不正な供給源から臓器移植を受ける目的での海外渡航を禁止する法律を制定した。

学習者はまた、中国の加害者リストを世界各国の政府に提出し、マグニツキー法に基づいて加害者を制裁するよう求めている。2020年、米国政府は人権侵害を理由に中国政



## 年表

府の高官を制裁し始めた。中には管轄区域内での法輪功への迫害を指揮した責任者もいた。

これらは歓迎すべき進展ではあるが、こうした残虐行為を終わらせるためには、さらに多くのことを行う必要がある。大小、直・間接を問わず、各個人には果たすべき役割がある。私たちの今日の行動は、私たちの未来を形作っている。中共とその影響力を拒否して初めて、人類は繁栄できる。

- 1992年 中国の長春市で法輪功が伝え出された
- 1992年-1994年 中国全土で6万人以上が法輪功講習会に参加
- 1996年 - 中国共産党が法輪功の書籍を発売禁止
- 1996年-1998年 - 散発的な嫌がらせや弾圧が始まり、反法輪功プロパガンダが広がる
- 1998年5月 政府スポーツ局が調査実施、調査対象の98%が法輪功によって健康が改善
- 1998年7月 中国では1億人が法輪功を修煉し、法輪功の本を読んだ
- 1998年7月 幾つかの省で、中国公安警察が早朝の煉功場で学習者に嫌がらせを始める
- 1998年10月 政府スポーツ局の主任調査員が、法輪功の健康効果と地域社会への好影響を再確認
- 1999年3月 法輪大法 (FalunDafa.org) のウェブサイト開設
- 1999年4月 1万人の法輪功学習者が、天津で逮捕された学習者の釈放求め、北京の中南海付近で陳情
- 1999年6月10日 江沢民が法輪功弾圧のための「610弁公室」を設置、羅幹が実行
- 1999年6月25日 明慧ネット (Minghui.org) のウェブサイト開設
- 1999年7月 中国全土での弾圧が始まり、独裁者・江沢民が法輪功を「地上から抹殺する」と公言
- 2001年1月 法輪功に対する世論を扇動するため、中国共産党は天安門広場で焼身自殺のプロパガンダを演出
- 2006年 強制臓器摘出という中国共産党の残虐行為が暴かれる
- 2011年 法輪功書籍は合法とされたが、実際には出版されず
- 2013年 労働収容所は閉鎖されたが、投獄者数は増加
- 2015年 独裁者・江沢民に対する刑事告訴が25万件を突破
- 2020年 『明慧二十周年報告書：中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』出版。迫害に関する包括的な記録となる
- 2022年 明慧が報告した迫害の加害者リストが114,300人を超える。法輪功学習者が37カ国の政府にリストを提出、人権侵害者への制裁を求める
- 現在
  - 80カ国以上へ法輪功が広まる
  - 40カ国語の法輪功書籍が発行される
  - 4億2千800万以上の中国人が中国共産党から脱退
  - 迫害は今なお続いている

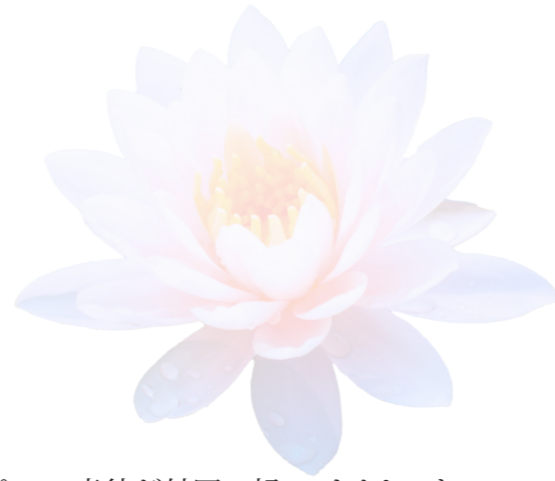


とした「闘いに留学生を派遣すること」、および「(領事館の) 状況把握に尽力できる『頼もしい』学生を募集すること」である。

中共はまた、外国の大学に自国内の情報を検閲するよう圧力をかけてきた。毎年多くの中国人留学生を受け入れているシドニー工科大学 (UTS) がその一例だ。2005年4月、学生団体 (法輪大法クラブ) が迫害への認識を高めるために「真善忍国際美術展」を開催した後、中共政権は同大学の上海と香港への投資を脅かした。大学の管理層は当初、中共の要求に従い、UTSのウェブサイトから法輪大法クラブに関する情報を数日間



# 歴史の正しい側に立つ



2023年7月7日、米第9巡回区連邦控訴裁判所は、学習者がシスコシステムズ社に対して起こした訴訟を却下した下級審判決を覆す意見書を発表した。原告側は訴状の中で、中共が信仰に基づく平和的な学習者に対して行ってきた暴力的な弾圧キャンペーン（「闘争」）をシスコシステムズが幫助したと主張している。テリー・マーシュ博士によると、この進展は人権と法輪功にとって「大きな勝利」に等しいという。

マーシュ博士は、この訴訟の原告側を代表する首席弁護士であり、ワシントンD.C.の人権法財団の事務局長でもある。彼女は過去15年間、学習者とその親族からなる13人の原告を代表して、この訴訟に取り組んできた。

## 本件は15年前に始まった

マーシュ博士は、2008年5月の上院司法委員会の公聴会をきっかけに、今回の訴訟を起こすことを決めた。その公聴会では、シスコの役員が、学習者や他の社会的少数派を暴力的に弾圧するために開発された中共の監視装置「金盾」にシスコが関与していたと証言した。これは、シスコが作成した特定の社内パワーポイント文書について、シスコの副社長が詰問されている最中に起きたことだ。

公聴会の記録によると、質問に対して、シスコの副社長は、「シスコの社内プレゼンテーションには、宗教団体を含む敵対勢力との戦いに関する中国政府の公式声明が含まれてい

る」と認めた。同じまたは関連あるパワーポイント文書におけるシスコの他の声明では、法輪功に対する「闘争キャンペーン」の実行への約束があり、それが会社にとって「収益性の高い機会である」との記述もあった。

3年間の調査を経て、マーシュ博士は2011年に、学習者（複数の技術専門家を含む）によって収集された証拠に基づき、カリフォルニア州北部地区連邦地方裁判所に「Doe（無名氏）対シスコ」の訴訟を提起した。

## シスコは何のために中共を支援していたのか？

「シスコは、中国のテクノロジー市場への参入を競っていたハイテク企業の一社でした」と、マーシュ博士は言う。「私たちの訴状にも書いているように、中国の実入りの良いテクノロジー市場へのアクセスを確保するために、被告はいくつかの高度な解決策（例えばアプリケーション設計の統合）の販売、設計、開発を行い、中国で学習者を特定したり、一斉検挙したり、または強制的に改宗させる方法を公安および党の代理人に示しました」。

これらおよび類似の申し立てに基づき、訴状は、とりわけシスコの役員が「拷問被害者保護法」（TVPA）に違反し、シスコが「外国人不法行為法」（ATS）に違反したと主張している。「TVPAは、『外国を代表して』米国市民に拷問や超法規的殺害を加えた個人に対して、たとえそれら

の虐待が外国で起こったとしても、米国連邦裁判所がその責任を問うことを認めています」と、マーシュ博士は言った。

さらに意義深いことは、「リー原告が被告のチェンバースとチェンが拷問を幫助したことを十分に証言できたため、第9巡回区控訴裁判所は地方裁判所による棄却の判決を覆したことです」と、マーシュ博士は付け加えた。

## 控訴審判決及び専門家の法廷助言

ATSの申し立てを成功させるためには、複数のハードルを越える必要がある中、第9巡回区控訴裁判所は、原告は被告であるシスコが国際法違反行為（拷問を含むが、それに限定されない）を幫助したことを十分に立証したと判断した。

第9巡回区控訴裁判所の意見書を作成したマーシャ・ベルゾン判事は、その冒頭の要約で次のように述べた。「原告は、被告であるシスコが（中共の）党および公安部に援助を提供し、それらの国際法違反行為に実質的な影響を与えたとの信用できる主張をした」と述べた。

この控訴は、非営利人権および環境団体であるアースライツと、非営利組織の電子フロンティア財団が提出した専門家による法廷助言書によって支持された。三つ目の法廷助言書は、戦争犯罪問題担当の元米国特命全権大使のデイビット・シェファー氏



によって提出された。

## ソフィア・コープ弁護士：「これはとてつもなく大きな勝利」

「第9巡回区控訴裁判所の判決は、原告だけでなく、米国企業によって助長された人権侵害のすべての被害者にとっても素晴らしいニュースです」とソフィア・コープ弁護士は述べた。

電子フロンティア財団の市民的自由チームの上級スタッフ弁護士であるコープ氏は、シスコ社の訴訟に関する法廷助言書を書いた。彼女は言論の自由とプライバシーに関するさ

まざまな問題に取り組んでおり、20年近く市民的自由弁護士を務め、訴訟や政策提言の分野で豊富な経験を持っている。彼女の記事はニューヨーク・タイムズ紙、英ガーディアン紙、スレート紙、ハフィントン・ポスト紙に掲載されている。

「抑圧道具の犠牲者にとって、これはとてつもなく大きな勝利です。第9巡回区控訴裁判所は、外国政府の人権侵害を助長する道具を開発した米国のテクノロジー企業に対し、法的説明責任を果たす道を示しました。EFFは第9巡回区を含め、この訴訟で複数の法廷助言書を提出しました」とコープ氏は述べた。

コープ氏によれば、13人の原告は自分や家族が逮捕、拘留、拷問され、

少なくとも1人は拘留中に殴られて死亡したと主張している。その訴えは恐ろしいもので、米務省や多くの人権NGOによる報告書と一致している。中には、原告らが強制労働収容所に入れられ、鉄の棒で殴られ、電気バットでショックを受け、睡眠不足と暴力的な強制灌食に耐えたという主張もある。また、原告らは金盾によって傍受された個人の電子メール、テキストメッセージ、その他の情報を見せられて、家族や連絡を取り合っていた人々への脅迫も含めて、彼らに対する拷問や転向の一部として利用されたと主張した。

「助言書には、別の法律である拷問被害者保護法（TVPA）に基づき、シスコの最高幹部に対する申し立て



の前進を認めるなど、さらに多くのことが書かれています。総じて言えば、第9巡回区控訴裁判所の見解は、人権、および米国企業が弾圧的な政府を支援することを止めさせたいと願う人々にとって、非常に大きな勝利です」とコープ氏は語った。

## 中国アナリスト「シスコは悪魔と取引した」

受賞歴のある中国アナリストで人権調査官のイーサン・ガットマン氏は、「今日に至るまで、法輪功学習者は中国国外でさえ、これらのシステムの標的になっています。学習者はアメリカでは安全だと感じるかもしれませんが、彼らの電子信号はどうでしょうか？ 保護されない限り、見ようと思えば誰でも見ることができるのです」と述べた。

1990年代、ガットマン氏は中国でビジネスコンサルタントとして働いていた。2001年7月、彼は中国のシスコ社のエンジニア2人から、シスコが「特別な箱」を特注で作り、競合他社に勝ったとの話を聞いた。この箱は、インターネット上で送信される情報のパケットを調べるのに使われるという。

2002年、上海で開かれた監視会議に出席したガットマン氏は、あるシスコの営業マンから以下の説明を受けた。特定の携帯端末を使えば、警察は路上でも学習者を正確に識別することができる。その端末に学習者の名前といくつかの識別子を入力するだけで、その学習者の過去3カ月間の電子メールなどの機密情報を読み取ることができるからだ。中国公安局が検索したキーワードには、「騒乱」、「新疆」、「法輪功」、「カトリック」、「キリスト」などがあった。

ガットマン氏は、シスコのブースに

いた営業担当者やシスコの中国語パンフレットから、シスコの能力について直接な情報を得た。彼がシスコの営業マンに、「これで法輪功を狙えますか？」と尋ねると、営業マンは、「ええ、そうするために作られています。彼らの電子メールを通じて法輪功であることを特定できます」と答えた。

ガットマン氏によると、中国がこのレベルの追跡を行うには、西側からの助けが必要だったという。こうした機能を提供したおかげで、シスコは中国のルーター市場に参入することができたのだ。

「シスコがしたことによって、多くの学習者は拘留所に收容され、ひどい迫害を受けています。シスコは、中国公安局が学習者を捕まえるための網を提供しました」とガットマン氏は述べた。

第9巡回区控訴裁判所の判決を聞いたガットマン氏は、「私は口をあんぐり開けました。第9巡回区控訴裁判所の判決に驚き、心から喜びました」と話し、今回のケースは、中国にいた企業がいかに目先だけの利益を考えて腐敗したかを思い起こさせるもので、彼らは中国経済の成長に惹かれたあまり、非常に愚かな過ちを犯した、とも述べた。

## シスコが取り得る対応

マーシュ博士によると、シスコは「全員法廷」の請願書を提出し、第9巡回区控訴裁判所全体に対して、パネルの決定を覆すことを求める可能性が高いという。第9巡回区控訴裁判所には現在29人の判事がいる。

マーシュ博士は、中国の法輪功学習者がただ単に法輪功に対する信仰を实践しただけで、拷問やその他の国際法違反行為に晒されてしまう

実態を考えると、今回の第9巡回区控訴裁判所の判決は、中国にいる法輪功学習者にとって良い兆しであると指摘した。

## 歴史の正しい側に立つ

マーシュ博士は、「本件は学習者に『強いシグナルを送りました』。そのシグナルはつまり、『彼らは歴史の正しい側に立っており、意見書を通して、党の邪悪な性質および学習者に対して行ってきた暴力的なキャンペーンの規模を暴露したことを気づかせる』ものです」と述べた上、「意見書はまた、中共の嘘とプロパガンダをありのままに暴露しました」と付け加えた。

確かに意見書は、国内学習者に対する中共の迫害決定を米国が支持している、という中共の主張があからさまに虚偽であることを明らかにした。党による学習者への迫害は、信教の自由と拷問を受けない権利を保護する基本原則に抵触している。マーシュ博士はさらに、中国の学習者が「真・善・忍」という核心的価値観に献身していることを称賛したいと付け加えた。



# 迫害の終結を求める EUの新決議

欧州議会は2024年1月18日、中国共産党による法輪功への迫害を非難し、迫害の即時停止と、中国当局が2023年12月に逮捕し3年の実刑判

決を下した学習者・丁元徳さんの無条件釈放を求める決議2024/2504 (RSP) を可決した。

同決議は、欧州連合 (EU) とその加盟国に対し、中国における臓器移植濫用 (臓器目当ての法輪功学習者の殺害を含む) を公に非難し、加害者とその家族、および中国内外の法輪功学習者への迫害に加担した団

上: 2024年1月18日、法輪功迫害を譴責する決議2024/2504 (RSP) に賛同する欧州議員 (写真提供: 欧州連合)

体を制裁するよう求めている。そして制裁には、「ビザの拒否、資産の凍結、EU領域からの追放、刑事訴追、または国際刑事告発の開始」が含まれるべきだと強調している。

## チェコの欧州議員: 「私たちの価値観は売り払えない」

チェコのマルケタ・グレゴロヴァ欧州議員 (欧州緑の党・欧州自由同盟: GREENS/EFA) は以下のように述べた。「欧州連合と中国との巨大な貿易関係が、21世紀の臓器収奪、強制不妊手術、巨大な強制収容所から目をそらす理由にはなりません」

「欧州連合は数十年にわたり、中国共産党のこうした犯罪を抑止するための行動をとりませんでした。それどころか、私どもは、各国首脳と大規模なビジネス代表団を中国に送り、『これらの犯罪を国内の問題として扱い、干渉しない』という中国の要望を受け入れてきたのです」

左: チェコのマルケタ・グレゴロヴァ欧州議員 (欧州緑の党・欧州自由同盟)

## ポルトガルの欧州議員: 「EUは共犯者になってはならない」

ポルトガル社会民主党のイザベル・サントス欧州議員はスピーチの中で次のように述べた。「丁元徳さんの事件は、中国で長年にわたって口止めされてきた法輪功迫害事件の一つです。法輪功は全く無害な修煉法であり、どのような利得も侵害することはありません。欧州連合は、このような事件を前にして、沈黙や独りよがりな態度で共犯者になることはできません」

左: ポルトガル社会民主党のイザベル・サントス欧州議員

## スロバキアの欧州議員: 「原則的な態度を取るべき時だ」

スロバキアのミリアム・レックスマン議員は、「欧州連合は、中国共産党に対してより原則的なアプローチをとるべき時期です。原則的な政策の欠如が、現在の人間の安全を脅かす危機をもたらしました。中国共産党とその手先による人道に対する犯罪の責任追及が、この問題に取り組む良いきっかけになります」と述べた。

左: スロバキアのミリアム・レックスマン議員





# カナダの弁護士が見つけた 最高の贈り物

カナダ・トロントの弁護士、ジョエル・エティエンヌさんは最近、法輪大法の創始者である李洪志先生が書かれた『なぜ人類が存在するのか』という文章を読み、それが人類への最高の新年の贈り物だと話した。この文章は2023年1月20日、旧正月の2日前に発表された。

右:カナダの弁護士ジョエル・エティエンヌさんとご家族



23年以上弁護士を務め、刑事訴訟と規制法を専門とするエティエンヌさんは、CBCラジオやテレビ番組にもゲストとして頻繁に出演し、訴訟法と行政法、規制法について一般市民を啓蒙している。地域活動に加え、エティエンヌさんは脚本家、プロデューサー、監督でもあり、2019年公開の映画『赤い悪魔の爪』では製作責任者を務めた。

## 最高の贈り物

「この文章を手にした時、それが私たちへの祝福だと思いました。心に

響き、極めて重要なことだと考えました」とエティエンヌさんは言った。欧米社会では多くの人々が物質的な豊かさや豊富な資源を享受しているが、これにより精神的な導きの恩恵も受けることができる、と彼は言った。また、彼はソーシャルメディア上では、混乱や不安、さらには精神障害を引き起こすほどのストレスのため、人々が心身の健康を改善する方法について話しているのを見てきたという。

エティエンヌさんはそれが人種や国を超えた共通の問題だと考えている。学生でさえストレスによる精神疾

患に苦しみ、教師や専門家、心理学者からのサポートも限られている。このような状況に陥ると、人はまず医者に診てもらい、処方薬を飲む。しかし、その種の痛みは心の奥深くにあり、ずっと続くかもしれないと彼は言う。

文章の中で、李先生は人類が直面している大きな問題を指摘し、解決策を提示している。エティエンヌさんには2人の10代の子供がいる。彼らがこの文章にどう反応するのかを知りたくて、彼は彼らと文章を共有した。子どもの1人が、その文章は鍵

のようだとした。エティエンヌさんも同感で、それが新しい領域への扉を開く鍵のようなものだと考えた。さらに彼は、ほとんどの宗教がある特定のグループの人々の心にしか訴えないのに対し、この「鍵」はどこの誰にも効くと言った。

## 普遍的なメッセージ

「もう1人の子供は、この文章が本当の愛を伝え、それが全人類に対する愛だと言っていました。私はそれが重要な結論だと考えました」とエティエンヌさんは言った。彼は、李先生が文章の中で特定の地域や国ではなく、あらゆる人種の人々に向けて語っていると指摘した。彼は、より多くの人々が、人間であることがいかに特別なことであるかを理解し、自分自身を大切にしてほしいと願っている。

文章の中で、エティエンヌさんが重要だと感じたのは、なぜ人には試練や苦難があるのか、そしてどうすれば自分を向上させ、最終的に神になることができるのかを説明している点だ。それが精神問題の解決において医学的手段を用いることに重点を置く現代の西洋とは大きく異なり、健康になるために医療に頼る人は、

自制することを学び、感情をコントロールできる人とは異なるからだと言った。

エティエンヌさんによると、西洋の宗教信者は週に一度教会に行き、神に祈りを捧げる一方、日常生活ではなかなか信仰を実践しにくいという。対照的に、法輪功学習者は毎日煉功し、自分の性格改善にも努めている。エティエンヌさんにとって、こうした心身の調和を図るために日々自分を磨き続けることは前例のないことだ。彼は、人間にこれほど多くの可能性が秘められていることを、多くの人々が知らないと考えている。

## 精神面を向上させる

エティエンヌさんが初めて法輪功学習者と交流したのは、23年前のことだった。当時、中国では迫害が始まったばかりだった。エティエンヌさんによると、彼のようなユダヤ人も2,000年近く迫害を受けて、50年ほど前になってやっと普通の安全な生活ができるようになったという。そのため、学習者が経験していることを理解できると言う彼は、共感から彼らを助けることを決めた。

当時は比較的若かったエティエン

ヌさんは、それ以来、学習者とともに歩んできた。当時を振り返り、エティエンヌさんは学習者の理念と誠実さを目の当たりにして、彼らから多くのことを学んだと語った。以前の彼は、変化や不確実性に苛立ちを感じていた。しかし今は、浮き沈みがある度に法輪大法の教えを思い出し、挫折を乗り越える力を得ている。

学習者との交流を通して、エティエンヌさんは彼らのように考えることも学んだ。若者として、彼にも多くの欲望や執着がある。しかし、そのような考えが浮かぶとすぐに、彼は執着を手放すという法輪功の教えを思い出し、その結果、心の調和が取れて前向きになった。彼は自分が育った文化には、そのような教えはなかったという。

当初、エティエンヌさんは、学習者が助けを求めて近づいてきたのだと思っていた。しかし、何年もの間、彼は自分が与えた分より受け取った方がはるかに多いことに気づいた。彼は、法輪功は毎日自分を向上させ、平静な心を保つよう導いてくれるので、素晴らしいものだと言った。

## 「なぜ人類が存在するのか」

### 「なぜ衆生を救い済度するのか」

一つ目の文章では、宇宙の壮大な仕組みにおける天地創造、および人類の役割についての法輪大法の見解が紹介されている。また、宇宙の構造、道徳と倫理の役割、そして充実した人生の定義などの視点も含まれている。

二つ目の文章では、創世主と、この高次元の存在が宇宙で果たしてきた役割について掘り下げている。

両方の文章は明慧ネットに掲載されており、法輪大法の教えに興味をお持ちの方には最適の文章である。

李洪志師父の発表  
なぜ人類が  
存在するのか

李洪志師父の発表  
なぜ衆生を  
救い済度するのか







# 法輪大法デーで感謝を分かち合う

毎年5月13日、世界中の法輪功学習者は、1992年に法輪功が世間に伝え出されたことと創始者である李洪志先生の誕生日を祝い、祝賀行事を行っている。その際、法輪功の素晴らしさを地域社会と分かち合うために、カラフルなパレード、音楽やダンスの披露、及び功法の実演などが行われる。

## より順調な人生

オーストラリアでの祝賀行事では、シドニーの検眼医であるソーニャ・プリスキンさんは、法輪功に感謝する理由を

語った。彼女は20年ほど前に修煉を始めて、法輪功の原則を日常生活で実践すればするほど、人生が順調になっていくことに気づいたという。「『真・善・忍』に従って行動していると、私は心が穏やかで落ち着いていて、生活も調和がとれていくのです」と彼女は語った。

ソーニャさんはまた、毎日の家事と二人の幼い子供に忍耐力を試されていたと語った。彼女は法輪功を修煉することで忍耐力が増して優しくなり、夫も修煉を応援してくれるようになったという。「修煉状態が良い時、子供たちに

腹を立てることはありませんでした。そして他人を責めるのではなく、自分の間違いを探すようにと、常に自身に言い聞かせていました。子供たちにも同じことをするようにと教えた結果、彼らも次第に問題にぶつかったら、まず自



李先生に感謝を申し上げるソーニャ・プリスキンさん

上：2023年5月7日、世界法輪大法デーを祝うため、ニューヨークの学習者がユニオンスクエアに集まった。

分自身を見つめるようになりました。法輪功に大いに助けられました。もし修煉していなければ、人生で多くの問題を抱えていたでしょう。李先生に救われて、私は楽で幸せな人生を送るようになりました。とても感謝しています」

## 恩恵は無限である

ケアンズに住むディーン・ステガーさんは、2003年末にポストに投函されたチラシで法輪大法を知った。「法輪功は私の心を広げ、真の慈悲とは何か、そしてトラブルの中で内に向けて探すことを教えてくれました。『真・善・忍』の原則をより深く理解できてから、私は自分自身を向上させ続けました。そして、常に他人のことを考える人になり、周りの人たちともうまくやっていけるようになりました」

「修煉の機会を大切にしました。大法が私にもたらした変化と恩恵は数多くあります。私は健康になり、日々自分を向上させることを学びました」

「長年修煉していても、まだ足りないところがたくさんあります。法輪功は不思議なもので、あなたの向上を絶えず後押し、自信の構築と強化



法輪功を世界に紹介した李先生に感謝の意を表しているディーン・ステガーさん

もしてくれます。それが修煉の過程なのです」

## 信じられないほどの平和と優しさ

シドニーで薬剤師をしているリンダ・ラウさんはこう語った。「子供の頃から修煉の道を探していました。多くの寺院を訪れ、異なる宗教信仰を实践する友人もいました。初めて『轉法輪』を読んだとき、人生におけるすべての疑問が解けたと感じ、人生の本当の意味も発見したと感じまし



李先生に誕生日の祝いを申し上げるリンダ・ラウさん

た。そしてこれこそが、私が子供の頃から探していたものだと気づきました」

リンダさんは2001年に初めて煉功場を訪れたときのことをこう振り返った。「それまでに経験したことがない、信じられないほどの安らぎと優しさを感じました。皆が自分の向上を望んでいました。彼らは自らの経験を他人と率直に分かち合っていました。法輪功の理念はとてもシンプルで親しみやすく、奥深いものです！法輪功が宗教的な形式ではなく、自己改善を重視しているところが好きです」

「法輪功を修煉して一番変わったことは、母との関係が良くなったこと

です。以前の私はよく母と口論し、彼女をまったく理解しておらず、自分の欲求を優先させながら母を長い間恨んでいました。しかし、大法を修煉し続けていくうちに、私は優しくて思いやりのある、忍耐強い人になって行き、私たちの関係も次第に調和がとれるようになりました」

法輪功を修煉する前、リンダさんは慢性気管支炎に苦しみ、毎年冬になると呼吸器感染症にかかっていたという。修煉してから、病気の再発はなくなった。

## 当局者からの応援の声

2023年の第24回「世界法輪大法デー」に際し、北米、南米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアから選出された公職者が、それぞれの地域社会に対する法輪大法とその創始者の多大な貢献を称える声明と祝辞を送った。

欧州議会議員のミヒャエル・ガーラー氏は、ドイツのフランクフルトで開かれた祝賀会で演説を行った。彼は、ドイツでは学習者が自由に世界法輪大法デーを祝うことができるが、中国で同じことをすれば拘束されると指摘した。

カナダでは、17の都市がこの日を記念して旗を掲げ、カナダ法輪大法学会は各レベルの政府関係者から70通以上の祝電を受け取った。米国のニューヨーク州、ミズーリ州、テキサス州の立法機関は、この日を記念する決議を公表した。



テキサス州上院決議第550号



# 子供たちに 道徳の大切 さを教える 明慧書籍



上右：翁教授が子供たちに明慧書籍を読み聞かせている様子

P29：『新しいクラスメート』を読んでいる子供

私は台湾の公立小学校の教師です。新しいクラスを割り当てられた時、生徒間の衝突が多く、クラスメート同士はよく顔が真っ赤になるまで喧嘩し、教師まで疲れ果てさせていました。

ある時、私は生徒に『不思議な宝の本』の内容を読み聞かせた後、「他人をいじめたり、悪口を言ったりすると、黒い物質である業力をもらい、逆に他人に親切に接し、一步を引いて譲ることができれば、白い物質である徳を得るのです」と教えました。生徒たちはすぐに「失と得」の理が分かりました。生徒間で再び言い争いが起きる時、私は『不思議な宝の本』を開いて別の物語を読み聞かせると、子供たちはすぐに怒りが収まりました。興奮して赤かった彼らの顔に笑顔がこぼれ、教室の雰囲気もますます和やかになりました。

明慧の児童書を教室に備えることで、クラスが落ち着いた雰囲気になったことに気がつきました。明慧の児童書はすべて、読書証明を推進している台中市教育局のウェブサイトで見ることができます。生徒たちはよく列を並んでこれらの本を借りて読み、証明書ももらっています。こうして良い読書習慣が促され、正しい道徳観もいつの間にか促進されました。これらの本は、混沌とした現代社会における

貴重で優れた善の源なのです。明慧書籍は、台湾の保護者及び教師から好評を得ています。以下は、各界の方々からのレビューを抜粋したものです。

## 子供の生活を映し出すストーリー

保護者の欣雅さんは、「明慧の児童書を読むことで、子供たちは『真・善・忍』の原則に従って良い人になる方法をより理解できたと思います。主人公が同年代の子供で、ストーリーもまた、彼ら自身の生活を映し出しているからです」と話しました。

「子供たちは、本の中の同年代の主人公が殴られても罵られても仕返しをしないのを読むと、自分の欠点に目を向け始めます。これらの物語は子供の心に深い印象を残します。彼らは善良な人がいかに行動しているかが分かり、そのような行動を見習うべきだと分かります。親の説教よりも効果的です！」

「明慧書籍のストーリーは、シンプルでありながら示唆に富み、子供たちに正しい価値観を伝え、親もそこからインスピレーションを得ることができるのです」

## 善行の育成

3人の子供を持つ雪莉玫さんは、自分の子



供についてブログを書いています。「近年、子供の絵本の題材は、科学から言語、数学、音楽、英語など、ますます多様化していますが、人格形成に関する本は比較的不足しています。明慧の絵本はシンプルな語り口と楽しい絵を通して、子供たちに優しさと思いやりを自然に教えており、子供の道徳性を育てようとする親には役立つ良い読み物ですので、お勧めです！」と彼女は言います。

幼い子供を担当する翁教授は、「明慧の絵本には心温まる物語がたくさんあります。子供たちは大好きで、反応はとて素晴らしいです。物語の主人公は、日常生活の中で『真・善・忍』の理念に従う行動を示し、読者にも同じことをするよう促します」と話しました。

台湾の保護者の柏仁さんは、「これまでは甥や姪におもちゃやお菓子ばかりプレゼントしていて、おもちゃは数日で飽きてしまい、お菓子

も食べ終わるとなくなるのです。そこで、本をプレゼントしようと考えました。子供は大喜びで、私に読み聞かせてほしいと言いました。甥っ子はいくつかの字を読めますが、姪っ子は絵しか理解できません。彼らはたくさん質問してくるのです」と話します。

「子供に物語を読み聞かせるのは素晴らしいことだと思います。明慧の絵本は、善悪の報いと、良い人になる道理を伝えることを目的としています。親から説教されるのと違って、子供たちはこうした優しく楽しいアプローチの中で、より良い人間になる方法を学ぶのです。親子間の良い交流に役立つこれらの本を作ったチームに感謝しています」

## 優しさの鼓舞

生徒の小翰さんは次のように語ります。「『修煉の不思議さ』を読んでから、優しさとは思いやりがある心を持つことで、寛容とは、殴られたり罵られたりしてもやり返さないことであり、そして、耐えることができれば、見返りとして徳を得ることになることが分かりました。この間、弟とアイスクリームを食べていたとき、弟が誤って自分のアイスクリームを地面に落としてしまいました。私は自分のものをあげました。私もアイスを食べたかったけれども、弟に譲ったのは、彼も今後同じ行動を取ってほしかったからです。弟と一緒に、『真・善・忍』に従う人になりたいです」

別の生徒である小瑄さんはこう言いました。「私は弟が大嫌いでした。彼は私が取り込んだ洗濯をよく散らかすので、私もよく彼を叱ってしま

た。『不思議な宝の本』を読んでから、他人に悪口を言うと黒い物質である業力がもたらされることを知って、優しい心を持つと思うようになり、そして、振り返ってみると、弟がわざと服を散らかしたのではなかったと気がつきました。その後、弟が服を散らかしたとき、私は大丈夫だと言ってあげました。私は今、家族やクラスメートに優しく接するべきだと分かりました。皆が周りの人々に優しく接することを願っています」

## 伝統的価値観の重要性

小学校教師の暁君さんは、「中国の5000年の歴史と文化には、豊かな道徳的伝統と風習があります。王朝が変わっても、変わらないのは中国の伝統的価値観です」と述べました。

「2024年全国の保護者が最も関心を寄せる教育テーマトップ10」の調査結果によると、親が子供の道徳教育に関心を持ち続けていて、これは古代から変わらぬ価値観です。テクノロジーとグローバル化の時代に、誰もが革新に努め、目まぐるしく変わっていく環境に対応できる若い世代の能力を育むことを望み、教育を変えようとしています。しかし、内面的な人格こそが、安定した社会の基礎なのです。

「明慧出版社が発行した教育絵本は、簡潔でありながら奥深い読み物で、家族全員の一読に適しています。道徳教育において、教義的な提唱も一定の効果がありますが、知らず知らずのうちに影響力と説得力の力を発揮できるのは、やはり感動的で良い物語なのです。皆さんもこれらの優れた読み物を参考し、自らの身体、心、および精神を養っていくことをお勧めします！」



# 明慧書籍の紹介

mhpublishing.org



## 明慧ダイジェスト



### 明慧ダイジェスト

この無料の新聞は、世界各国の活動、法輪功が迫害されている状況、学習者の心身改善の体験談を掲載しています。



### 明慧インターナショナル (30周年記念 特別号)

年1回発行される冊子で、法輪功についてさまざまな角度から紹介。法輪功が世界に伝え出されて30周年を記念した特別号です。



### 修煉で現れた奇跡 (子ども弟子篇)

法輪功を学ぶ子ども達16人の修煉物語。多くの幼い子どもたちは生まれながらにして聡明で、物事をよく理解しています。



### 中国共産党パンデミック

パンデミックによって中国共産党の本性が露呈した今、世界中のより多くの人々が、中共政権に責任を追究し、今回のような悲劇を二度と繰り返さないよう、普遍的な価値と道徳を守る必要があると訴えています。



### 中国における法輪功迫害の最新情報 (2023)

この年次報告書は法輪功迫害の最新動向を紹介し、明慧ネットが中国から独自に収集し直接に入手した情報に基づいています。



### 新しいクラスメート (英語)

「先生、またブライアンに殴られました!」と、マヤは涙を拭いながら言った。彼女はブライアンにいじめられた5人目の生徒である。マヤはどのようにして彼が人をいじめるのをやめさせ、さらに友達にまでなったのだろうか?

## 白樺の木の下で



この絵は、中国の法輪功学習者が、自らの信仰への迫害の真実の状況を人々に知ってもらうために地方へ行き、山と川の近くにある静かな村の高い白樺の木に、カラフルな垂れ幕を掛けようとしている様子を描いている。



祝賀

□ 真善忍



世界法輪大法日徵稿

真・善・忍が、あなたにもたらしものを見つけてみませんか

法輪大法を学ぶには

MINGHUI 明慧  
INTERNATIONAL 慧



**FalunDafa.org**

各地の気功教室の情報



**LearnFalunGong.jp**

オンラインの無料レッスン



**Hakudai.jp**

法輪功の書籍、CD、DVDなど  
東京池袋の書店でも購入可

迫害を終わらせるために、  
お力をお貸し下さい

ご家族や友人に、中国で起きている迫害についてお伝えください。より多くの人に写真や記事、資料などをシェアして知らせましょう。

**jp.Minghui.org**

明慧は23カ国語で最新のニュース、中国での迫害に関する情報、および法輪功学習者の体験談などをお届けします。